

2017年 第3四半期 決算説明資料

株式会社ブリヂストン

2017年11月9日

A red triangle graphic located in the bottom right corner of the page.

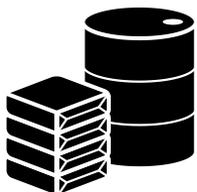
1. 2017年第3四半期業績	3
2. 2017年通期業績予想	9

1. 2017年 第3四半期業績



為替

- USD、EUR共に対前年円安
1USD=111円 1EUR=131円
(参考) 16年3Q 1USD=102円 1EUR=114円



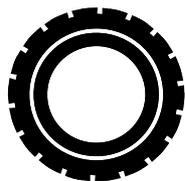
原材料

- 天然ゴムを始めとして、原材料価格は引き続き対前年上昇

相場動向 (平均価格) 推移

	2016年		2017年		
	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
天然ゴム (¢/kg) ※〈TSR20〉	131	166	208	152	153
天然ゴム (¢/kg) ※〈RSS#3〉	167	192	253	204	180
原油〈WTI〉 (\$/bbl)	44	49	51	48	48

※ Source: Singapore Commodity Exchange Limited 期近市況価格



タイヤ需要 (PSR/TBR)

- 北米での車両生産減あるも、グローバルではREP向け・OE向けともに概ね好調に推移

タイヤ需要※ (本数前年比) ※ 需要数値は当社推定

3Q	PSR		TBR		9ヶ月累計	PSR		TBR	
	OE	REP	OE	REP		OE	REP	OE	REP
日本	103%	106%	101%	130%	日本	106%	107%	103%	121%
北米	84%	99%	124%	118%	北米	91%	100%	110%	103%
欧州	107%	98%	105%	93%	欧州	102%	99%	106%	102%

2017年第3四半期 タイヤ販売（対前年販売本数比）



PSR

新車用タイヤ+補修用タイヤ

	3Q	9ヶ月累計
グローバル	102%	103%

新車用タイヤ

日本	111%	114%
北米	93%	98%
欧州	103%	109%
中国・アジア大洋州	110%	106%

補修用タイヤ

日本	106%	105%
北米	99%	97%
欧州	98%	100%
中国・アジア大洋州	100%	103%



TBR

新車用タイヤ+補修用タイヤ

	3Q	9ヶ月累計
グローバル	107%	108%

新車用タイヤ

日本	101%	103%
北米	122%	110%
欧州	102%	103%
中国・アジア大洋州	161%	162%

補修用タイヤ

日本	125%	120%
北米	96%	104%
欧州	90%	105%
中国・アジア大洋州	108%	105%



ORR

※

	3Q	9ヶ月累計
超大型ORR	115%	115%
大型ORR	130%	140%

ORR超大型/大型ともに好調



PSR

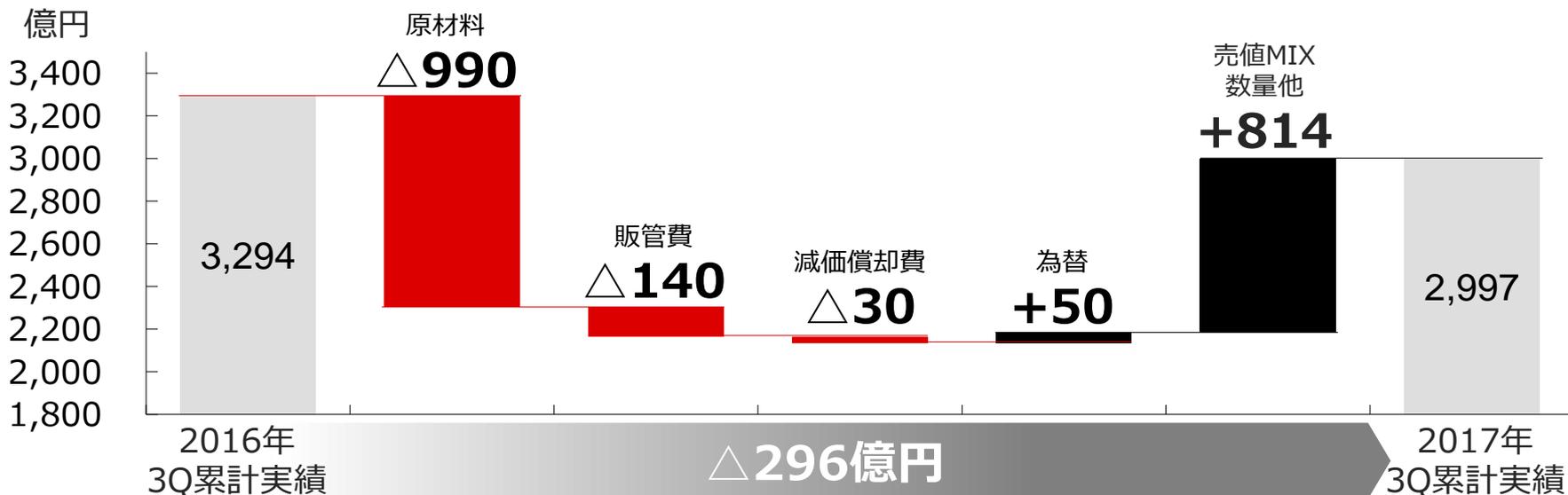
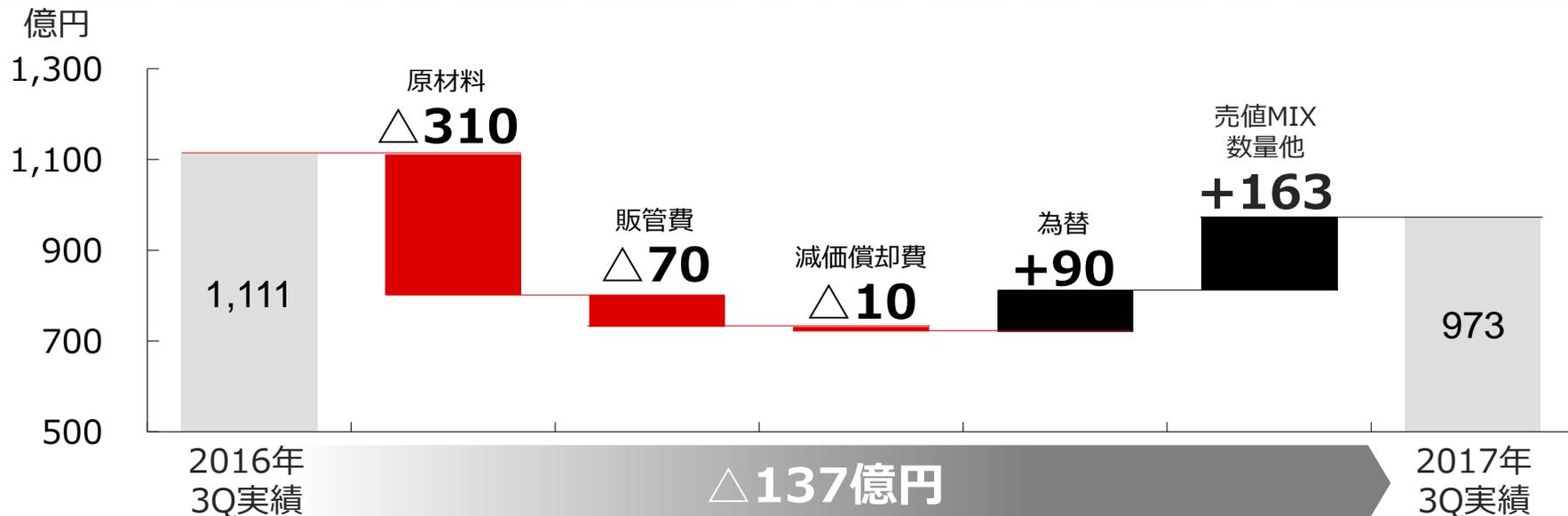
18インチ以上

	3Q	9ヶ月累計
グローバル	120%	120%

※ORRのみゴム量ベース

	2017年 第3四半期 実績	対前年 増減 (%)	2017年 第3四半期 累計実績	対前年 増減 (%)
売上高	9,202	+15	26,630	+9
タイヤ部門	7,676	+16	22,074	+10
多角化部門	1,564	+11	4,672	+6
営業利益	973 利益率 10.6%	△12 利益率 △3.3%	2,997 利益率 11.3%	△9 利益率 △2.2%
タイヤ部門	892	△12	2,744	△9
多角化部門	81	△13	253	△13
経常利益	928	△13	2,886	△10
親会社株主に帰属する 四半期純利益	659	+10	1,977	+8
USドル	111円	+9円	112円	+4円
ユーロ	131円	+17円	125円	+4円

2017年第3四半期 営業利益増減要因 (前年差)



	2017年 第3四半期 実績	対前年 増減(%)	2017年 第3四半期 累計実績	対前年 増減(%)
連結 売上高	9,202	+15	26,630	+9
日本	2,708	+12	8,053	+6
米州	4,563	+12	13,196	+7
欧州・ロシア・中近東・アフリカ*	1,438	N/A*	4,147	N/A*
中国・アジア大洋州*	1,706	N/A*	4,811	N/A*
連結 営業利益	973	△12	2,997	△9
日本	311	+16	961	+2
米州	469	△3	1,368	△9
欧州・ロシア・中近東・アフリカ*	34	N/A*	87	N/A*
中国・アジア大洋州*	193	N/A*	542	N/A*

* 2016年以前は「その他地域」に区分していたロシアをタイヤ事業SBU体制の再編に伴い2017年から欧州・中近東・アフリカと統合したため、所在地名称を変更し、前年比をN/Aとしております。

2. 2017年 通期 業績予想



為替

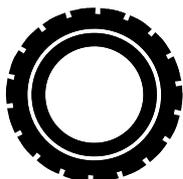
- 対前年円安前提

(参考) 16年年間 1USD = 109円 1EUR = 120円



原材料

- 年間を通じて対前年上昇を見込むが、8月計画前提は下回る



タイヤ需要 (PSR/TBR)

- 市場毎でトレンドは異なるも、グローバルでは堅調に推移

為替動向 (平均価格) 前提

(単位: 円)	2017年			(参考) 8/9発表 '17年通期 予想
	上期	下期	通期	
USDドル	112	111	111	111
ユーロ	122	130	126	122

タイヤ需要※ (本数前年比)

※ 需要数値は当社推定

	PSR		TBR	
	OE	REP	OE	REP
日本	106%	100%	103%	103%
北米	92%	100%	103%	100%
欧州	102%	98%	106%	101%
アジア	102%	103%	111%	100%

(アジア: タイ・インドネシア・インド・中国の4ヶ国計)

2017年通期 タイヤ販売予想（対前年販売本数比）



PSR

新車用タイヤ+補修用タイヤ

対8/9
※1

グローバル	若干の増	↓
-------	------	---



TBR

新車用タイヤ+補修用タイヤ

対8/9

グローバル	1割弱の増	→
-------	-------	---



ORR ※2

対8/9

超大型ORR	115%	→
大型ORR	135%	↑

新車用タイヤ

日本	1割強の増	↑
北米	若干の減	↓
欧州	1割弱の増	↑
中国・アジア大洋州	1割弱の増	→

新車用タイヤ

日本	若干の増	↑
北米	1割弱の増	↑
欧州	若干の増	→
中国・アジア大洋州	5割弱の増	↑

ORR超大型/大型ともに
年間を通して好調

補修用タイヤ

日本	前年並	↓
北米	前年並	→
欧州	前年並	↓
中国・アジア大洋州	若干の増	↓

補修用タイヤ

日本	1割弱の増	→
北米	若干の増	↓
欧州	若干の増	↓
中国・アジア大洋州	1割弱の増	↓



PSR

18インチ以上 対8/9

グローバル	120%	→
-------	------	---

※1 8/9発表計画からの増減

※2 ORRのみゴム量ベース

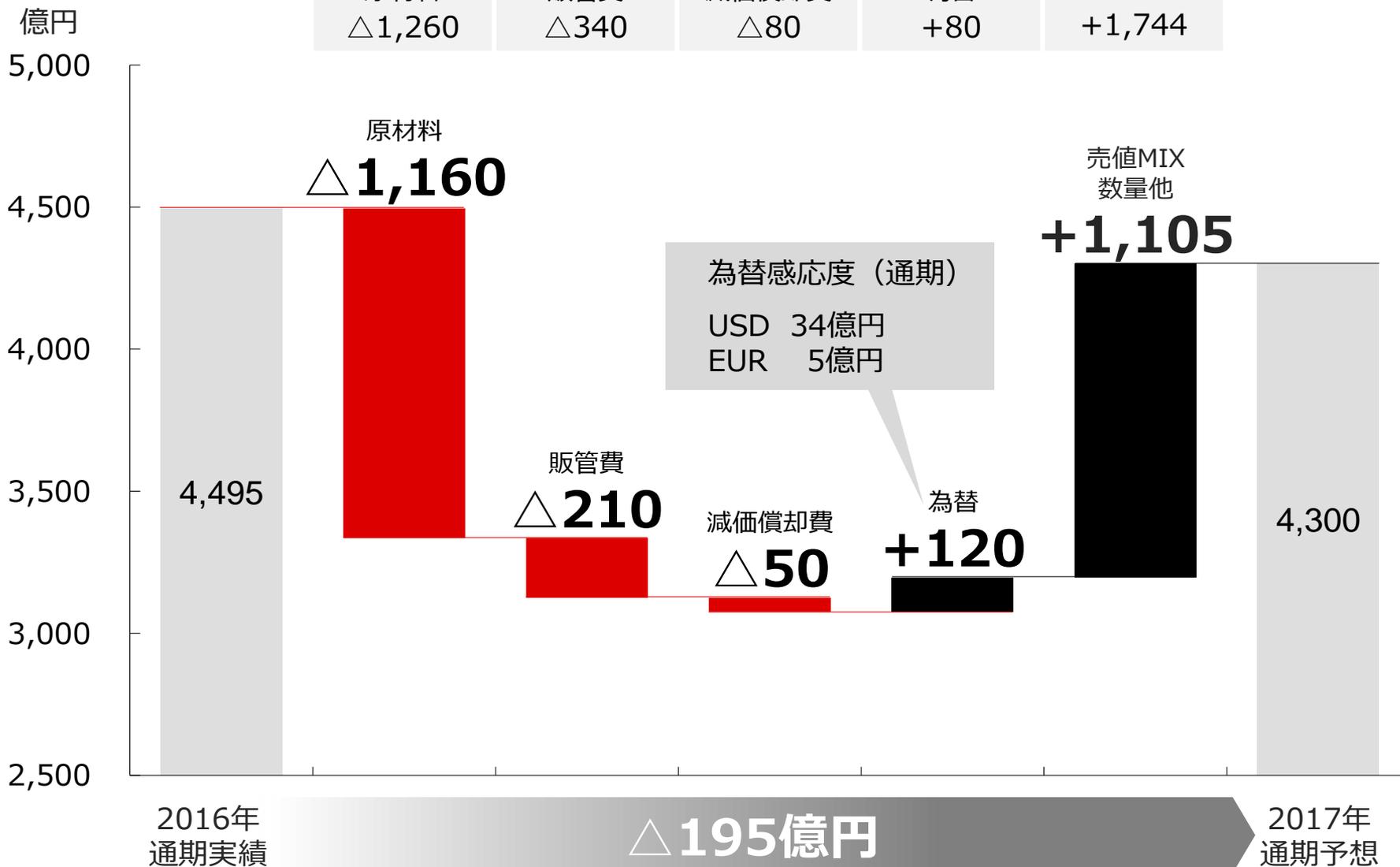
2017年通期 連結業績予想

	2016年 通期実績	2017年 通期予想	増減 (%)	(参考 '17/8/9発表) 2017年通期予想
売上高	33,370	36,500	+9	37,000
タイヤ部門	27,657	30,400	+10	30,900
多角化部門	5,857	6,200	+6	6,200
営業利益	4,495 利益率 13.5%	4,300 利益率 11.8%	$\triangle 4$ 利益率 $\triangle 1.7\%$	4,640 利益率 12.5%
タイヤ部門	4,147	3,970	$\triangle 4$	4,280
多角化部門	348	320	$\triangle 8$	350
経常利益	4,325	4,000	$\triangle 8$	4,390
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,655	2,900	+9	2,890
USDドル	109円	111円	+2円	111円
ユーロ	120円	126円	+6円	122円

2017年通期 営業利益増減要因予想 (前年差)

(参考) 8/9発表計画 通期営業利益増減要因 (対前年) +144億円

原材料 △1,260	販管費 △340	減価償却費 △80	為替 +80	売値MIX数量他 +1,744
---------------	-------------	--------------	-----------	--------------------



	3Q実績	通期見込
タイヤ 販売数量	<ul style="list-style-type: none"> ● PSR、TBR共にOE需要伸長がけん引し、対前年販売伸長 ● ORR超大型/大型共に対前年伸長 	
売値・ 原材料	<ul style="list-style-type: none"> ● 主要市場で着実に値上げが浸透 ● 売値と原材料のスプレッドは価格反映のタイムラグによりネガティブ 	<ul style="list-style-type: none"> ● 下期の売値と原材料のスプレッドはポジティブを見込むが、年間ではネガティブが残る
販管費	<ul style="list-style-type: none"> ● 販売数量増に伴う物流費等の増加に加え、拡販施策強化等により前年比増 	
連結業績	<ul style="list-style-type: none"> ● 値上げ、販売伸長等により対前年増収なるも、原材料高影響により対前年営業減益 	<ul style="list-style-type: none"> ● 原材料価格上昇と値上げのタイムラグにより対前年営業減益 ● PSR、TBRのREP向け販売の計画比数量減等により8/9発表計画から見直し



あなたと、つぎの景色へ

免責条項

本資料に掲載されている業績予想、計画、戦略目標などのうち歴史的事実でないものは、作成時点で入手可能な情報からの判断に基づき作成したものであり、リスクや不確実性を含んでいます。そのため、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、今後の当社を取り巻く経済環境・事業環境などの変化により、実際の業績が掲載されている業績予想、計画、戦略、目標などと大きく異なる可能性があります。